

第七十五回
帝國議會
貴族院

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ
充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

特別委員會會議事速記録第六號

付託議案(追加)

樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

昭和十五年三月十八日(月曜日)午前十時三十分開會

○委員長(子爵西尾忠方君) 只今ヨリ開會致シマス、去ル十四日當委員會ニ付託ニナリマシタ樺太地方鐵道補助法中改正法律案竝ニ樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、此ノ二件ヲ議題ト致シマシテ、政府當局ノ御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(松岡俊三君) 樺太地方鐵道補助法中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明致シマス、樺太ニ於テ現ニ補助中ノ地方鐵道ハ、樺太鐵道株式會社ノ經營ニ係ル落合、敷香間延長二百四十五分、南樺鐵道株式會社ノ經營ニ係ル新場、留多加間延長十八分六分ノ二鐵道デアリマス、而シテ是等ノ鐵道ニ對スル補助方法ハ、現行法ニ依リマス、所謂補助基本期間中ニアルモノト伸長期間中ニアルモノトヲ區別シ、前者ニ對シテハ補助率年六分、釜金留保率年一分、後者ニ對シテハ補助率年五分、釜金留保率年一分五厘トナツテ居リマスガ、金利ノ著シク低下致シマシタ現下經濟界ノ趨勢ニ鑑ミ、又朝鮮及臺灣ノ私設鐵道補助法ト均衡ヲモ考慮致シマス、現行率ヲ繼續スルコトハ適當デナイノデ、此ノ際補助率及釜金留保率ヲ引下グルコトトシ、補助基本期

間中及伸長期間中ヲ通ジ、補助率ハ一率ニ之ヲ五分トシ、又釜金留保率ハ一率一分ト致シマシタ、尙毎年ノ補助金最高額法定ノ制度ヲ改メ、補助額ハ毎年之ヲ豫算ニ於テ定ムルコトト致シタノデアリマス、而シテ現ニ補助ヲ受ケツ、アル鐵道ニ對シマシテハ、所謂既得權ヲ尊重シマシテ、現在ノ補助期間満了ノ日ノ屬スル營業年度ノ末日迄ハ、仍從前ノ例ニ依リ補助スルコトトシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○政府委員(入間野武雄君) 當委員會ニ付託ニ相成リマシタ樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、樺太鐵道株式會社ノ經營ニ屬シマスル鐵道ハ、國鐵東海岸線落合驛ヨリ東海岸ヲ北上シ、知取ヲ經テ敷香ニ至ル延長二百四十五分ノ私設鐵道デアリマスガ、本鐵道ハ當初財政上其ノ他ノ事情ニ依リ、國鐵代行線トシテ敷設セラレマシタモノデアリマシテ、樺太ニ於ケル交通並ニ拓殖上ノ重要幹線デアリマスルノミナラズ、國防上ニ於テモ亦重大ナル使命ヲ有シテ居リマスルノデ、之ヲ國營ニ統一シ、諸設備ヲ改善ヲ圖ルト共ニ、國有鐵道ノ運輸系統整備ノ必要上等ヨリ、昭和十五年度ニ於テ之ヲ買收スルノヲ適當ト認メタノデアリマスガ、之ガ爲ニハ買收代價トシテ交付スベキ公債ヲ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシ

タ次第デアリマス、何卒御贊成アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 是ヨリ質疑ニ移リマスガ、先般申上ゲタ通り只今ノ御説明ヲ煩ハシタ法案、竝ニ其ノ以外ニ付テモ、御質疑ガアレバ隨時御發言ヲ願ヒタイト存ジマス

○子爵梅小路定行君 今日ハ大藏大臣ハ御見エニナルノデゴザイマスカ、ドウデスカ

○委員長(子爵西尾忠方君) 此ノ間カラ御交渉致シテ置キマシタケレドモ、今日ハ御承知ノ通り急ニ稅法ノ改正案ガ上程サレテ、本會議ニ出テ説明シテ居ラレマス、ソレカラ午後ハ矢張り稅關係ヲ衆議院ノ方ニ矢張り出席セラレナケレバナラヌノデ、當委員會ニオイデニナラナイノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、尙交渉致シマシテ、次ノ日ノ適當ノ機會ニオイデラ願フコトニ致シテ置キマシタ

○土方久徵君 チョット只今御説明ニテツク「樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲ニ必要ナル額ヲ限度トシ」ト云フコトガアリマスガ、必要ナル額ト云フノハドノ位ノモノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 買收豫定價額ト致シマシテハ、建設費用ヲ基準ト致シマスノデ、只今ノ所ハ二千三百四十六萬圓ト見積リテ居リマス、之ニ對シマシテ假ニ三分五厘ノ公債ヲ發行交付致スコトニ相成リマスルト、公債額面ト致シマシテハ、二千四百二十九萬圓バカリト豫定致シテ居リマス

○野村徳七君 此ノ私設鐵道買收ニ伴ヒマシテ、目下樺太廳ニ於ケレマシテモ、石炭ノ増産獎勵計畫ト云フヤウナモノヲ御立テニナツテ居ルヤウデアリマス、非常ニ炭鑛ノ開發ニ努力サレテ居ルヤウデアリマスガ、矢張り私設鐵道買收ニ依ツテ、サウ云フコトヲ促進サスト云フヤウナコトニモ相成ルト考ヘルノデアリマス、樺太ニ於ケル石炭ノ増産對策又獎勵ト云フヤウナコトニ付キマシテ、御話ガ伺ヘレバ結構デアリマス、鐵道ト特ニ關係ガアル譯デアリマセヌケレドモ、此ノ際御聽カセ願ヘレバ大變結構デアリマス

○政府委員(松岡俊三君) 此ノ買收鐵道ト石炭増産計畫トハ、直接ニ直チト云フヤウニハ參ラヌノデアリマスガ、石炭増産計畫等ニ關シマシテハ、各炭鑛會社方面ニ於テ、惠須取方面ニ特ニ鐵道ヲ民有ニ依ツテ經營スルヤウニ今ナツテ居リマス、只今買收シヨウトシマスル鐵道ハ、増産計畫ノ方ニハ勿論關係ハアリマセヌケレドモ、直接直チニト云フヤウニハ參ツテ居ラナイノデアリマス、尙詳細ノコトハ樺太長官ヨリ御説明申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 御尋ニ預リマシタ石炭ト、此ノ度御協賛ヲ仰ギマスル樺鐵買收トハ、左程不可分ノ關係ハ今ノ所アリマセヌケレドモ、併シ此ノ鐵道ヲ買收シ、之ヲ適當ニ整備改善致シマスル曉ニハ、此ノ沿線ニハ相當現在稼行中ノ炭鑛モアリマスシ、又將來開發ヲ期待サレテ居リマス

山モアリマスノデ、左様ナ嶺山等ニ對シマシテハ、冬季樺太ハ殆ド輸送ガ出來マセヌノデ、冬季ノ島内ノ輸送乃至大泊港迄ノ輸送等ニ付キマシテハ、此ノ鐵道ガ相當ノ役割ヲ持ツコトニナルノデハナイダラウカト、斯様ニ豫定致シテ居リマス、現ニ此ノ冬、日本發送電ノ石炭對策ト致シマシテ、樺太カラ急遽出來ル限リノ石炭ヲ送ッテ呉レナイカト云フ御話デアリマシタガ、此ノ鐵道ノ沿線ニハ相當貯炭量ガアリマスルニモ拘ラズ、輸送能力ガナイ爲ニ遂ニ御要望ニ副ヒ得ナカッタ状態デアリマス、併シナガラ只今樺太デ主力ヲ擧ゲテ石炭ノ増産ニ邁進致シテ居リマスノハ、西海岸ノ方デアリマシテ、御手許ニ差上ゲマシタ地圖デ御覽願ヒマスレバ御分リト思ヒマスケレドモ、沿海洲側ニ面シマシタ所ノ西海岸ノ北半部デアリマス、其處ガ只今石炭ガ最モ盛ニ採掘サレテ居ルノデアリマス、御尋ニ對シマシテ大體ノ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、樺太ノ石炭ハ只今迄ノ調査デハ、或ハ既ニ御承知カト思ヒマスルガ、炭層ノ厚サガ二尺五寸以上、水準下二千尺以内迄ノ調査デアリマス、固ヨリ一通リノ調査デアリマスガ、二十二億五千萬ト云フ風ニ豫定致シテ居リマス、調査ガ進ミマスニ從ヒマシテ、是ハ段々ト増シテ參ルコトハ確實デアリマシテ、三十億ト云フ遙カニ突破致シ埋藏量デアルコトハ疑ヲ容レナイト考ヘテ居リマス、之ニ對シマシテ樺太ノ石炭ガ著目サレマシタノハ極メテ最近デアリマシテ、殆ド問題ニサレナカッタト云フ状態デアリマス、樺太ノ海岸線ニ沿ヒマシテ非常ニ立派ナル炭層ガ南北ニ互ツテ連テ居ル譯デアリマシテ、是ガ樺太ノ大キナ資源トシテ著目サレルニ

至リマシタノハ極ク最近デアリマス、何分ニモ冬季ノ輸送ガ困難デアルコトト、極ク新シク事業ニ著手シタ關係デ、マダ目覺シイ活動ヲ致ス時期ニナツテ居リマセヌ、併シナガラ昭和十四年度ノ出炭量ガ五百萬ト云フデアリマスルガ、之ニ對シマシテ此ノ度ノ追加豫算ニ計上致シテ、御協賛ヲ得マサル手配ニナツテ居リマス各種ノ獎勵施設ヲ致シマスル外ニ、尙封鎖炭田ノ開封モ一部必要ナル時期ニ之ヲ引入レマシテ、尙未開發ノ炭礦ノ開發ヲ致シマスレバ、昭和十八年度ニハ千五百萬トシ、中、内地方面ニ移出シ得ル數量ガ千萬ト云フコトニナツテ居リマシテ、内地ノ四分ノ一程度ノ石炭ヲ樺太デ掘ル、而モ是亦御承知カト思ヒマスガ、ソノ國ノ方面ニ北上スルニ從ヒマシテ、ソノ炭礦ト相關聯シマシテ、炭質ガ甚ダ宜シイト云フコトニナツテ居リマシテ、八千「カローリ」位カラ七千「カローリ」位ガ、北部ノ炭田デハ普通ノ熱量ト云フ風ニ調査サレテ居リマス、非常ニ優秀ナ石炭デアリマシテ、而モ稼行條件等ガ内地ノ堅坑ナンカノ二千尺三千尺ト降ルニ較ベテ、單純ナル斜坑デ簡便ニ且經濟的ニ掘レルヤウナ状態デアリマス、デ主力ヲ擧ゲテ石炭ノ増産ニ我々ハ努力致シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス、追加豫算ニ現シテ居リマス獎勵方法ハ、内地ト殆ド同建前デアリマシテ、増産獎勵、振興開發獎勵、損失補償、此ノ三ツノ方法ヲ用ヒタイト思ッテ居リマス、總額ハ七百七十三萬圓バカリヲ増産ノ對策諸費ト致シマシテ、只今追加豫算トシテ御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマス

○子爵綾小路護君 野村サンノ御質疑ニ關聯シマシテ伺ヒタイト思フノデアリマス、樺太鐵業ノ開發ハ、只今御述ノ通り氣候ヤ輸送ノ關係デ非常ニ困難ダト思ヒマスガ、非鐵金屬ノ開發ハ、是ハ只今ノ國策ト致シマシテ重要ノコトデアリマスガ、此ノ開發ハドウ云フ模様デゴザイマセウカ、御洩ラシ願ヘマスレバ此ノ際伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 非鐵金屬ト致シマシテハ、樺太デハ特ニ目ボシイ資源ヲ發見致シテ居リマセヌ、色々専門家等ニ委囑致シマシテ調査ヲ致シ、又近ク調査ヲ致シタイト思ッテ居リマスガ、只今ノ所デハ銅ガ豐原附近ニ發見サレテ居リマス、水銀ガ矢張り南部方面ニ是亦事業ヲ既ニ進メテ居リマス、若干產出致シテ居リマス、其ノ他ハ國境方面ニ砂金ガアルト云フコトヲ盛ニ唱ヘテ居リマスガ、確實ニ左様ナ形跡ノアルコトヲ見届ケテ居リマセヌ、是ハ近ク矢張り調査致シテ見タイト思ッテ居リマス、他ニ別ニ目ボシイモノガアリマセヌノデ、遺憾ニ思ッテ居リマス

○子爵綾小路護君 陸軍ノ政府委員ガ御見エノヤウデスガ、鐵道ノ問題ヲ離レテノ質問ヲ致シテ宜シウゴザイマスガ、樺太ニ關係ガアリマスカラ……、ソレハ最近ノ新聞ニ露兵ノ事件ガ報道サレテ居リマシテ、又駐日ノ「ソ」國大使ニ對シテモ我が國ヨリ抗議ヲ申出デタト云フヤウナコトガ報道サレテ居ルノデアリマス、是ハ眞相ハドウ云フコトデアリマスカラ、之ヲ御漏シテ願ヒタイ

○政府委員(棟居俊一君) 私カラ甚ダナンデスガ、簡單ニ申上ゲテモ宜イト思ヒマス、或ハ軍ノ方ニ十分ナ情報ヲマダ差上ゲテ居ナイノデハナイカト思ッテ居リマス、若シナシナラバ……

○子爵綾小路護君 ドウゾ御話ヲ願ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 國境方面ノ情勢ハ、是ハ政治的ナ動キニ連レマシテ非常ニ微妙ニ推移致シマス、張鼓峰事件當時ハ殊ニ一時緊張致シマシタ、其ノ後「ノモンハ」事件ニナリマシテモ、同様ニ或種ノ對立的ナ感ジヲ以テオ互ニ警戒ヲ致シテ居リマシタガ、「ノモンハン」ノ協定成立後ハ情勢ガ著シク變リマシテ、今迄業ニ隠レテコチラノ一舉一動ヲ監視致シテ居リマシタ、「ソ」ノ側ノ巡邏兵モ、最近ハ全身ヲ國境線上ニ現シマシテ……、チヨット速記ヲ御止メ願ヒマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ始メテ……

○男爵大藏公望君 政府委員ニ御尋ネシタインハ、此ノ三菱ノ工場デアリマスガ、此ノ石炭液化ノ狀況ハ其ノ後何シデスカ、先年ノ議會デ大分是ハ政府ハ援助シテスルト云フ案ガ成立シタノデスカ、其ノ後進展シテ居リマセウカ、其ノ狀況ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 内帳ニ於キマシテ三菱ノ經營ノ液化工場デアリマスルガ、只今ハマダ低溫乾餾事業ダケヲ經營スル程度ニ止マツテ居リマスガ、昨年以來増産計畫ヲ立テマシテ、相當數量ノ石炭ヲ處理スル

乾餾設備ヲ殆ト完成致シマシタ、之ニ伴ヒ
マシテ揮發油、重油、パラフィン・ワックス、
「クレゾール」、ピッチ等ガソレト増産ニ
相成リマセウ、先ヅ此ノ程度デ低温乾餾ノ
方ハ打切ツテ置キマシテ、次ニ水素添加ト云
フ方向ニ擴充シタイト云フ風ナ意嚮ヲ持ッ
テ居リマス

○男爵大藏公望君 次ニ伺ヒタイノデアリ
マスガ、先程石炭ノ非常ナ増産ニ付テ伺ヒ
マシテ、非常ニ心強ク感シタノデアリマス
ガ、何カ其ノ外ニ樺太トシテ、現在稍、窮
乏ノ状態ニアル日本全體ノ資源關係ニ寄與
スル所ガ相當ニアルト云フコトガ何カアリ
マセウカ、其ノ狀況ヲ一ツ伺ヒタイと思ヒ
マス

○政府委員(棟居俊一君) 御承知ノ通りニ
樺太ノ三大資源ト普通ニ稱ヘラレマスモノ
ハ、林産、水産及ビ石炭ヲ樞軸ト致シマス
鑛産デアリマス、林産ハ既ニ申上ガマスル
迄モナク、樺太ノ資源ノ大宗デアリマスル
ガ、是ハマア最近極メテ堅實ナル過程ニ於
テ開發サレ利用サレテ居リマス、此ノ點ハ
殆ト申上ゲルコトモ蛇足カト考ヘテ居リマ
ス、水産ハ是モ極メテ順調ニ發展ヲ致シテ
居リマシテ、一進一退ノ觀ハアリマスガ、
此ノ頃特ニ順調ニ發展致シテ居リマシテ、
十三年度ノ水産ノ水揚高ハ二千百萬圓バカ
リデアリマシタモノガ、十四年ハ四千萬圓
ヲ突破致シテ居ルト云フ風ナ状態デアリマ
ス、水産ノ是ハ特ニコレノト云フ風ナ國
内資源ノ不足ニオ役ニ立ツテ居ルカト云フ
問題ニナリマスルト、特ニ是ハ申上ゲル程
ノコトモナイと思ヒマスルガ、或種ノ食
糧、或ハ輸出資源ト致シマシテノ將來性ヲ
持ッテ居ルト云フ風ニ我々ハ想定致シテ居

リマス、農産及ビ畜産モ是亦相當程度増産
サレテ居リマシテ、是モ北方ノ農業ノ特長
ヲ十分ニ取入レマシタ建前ニ基キマシテ、
段々増産ヲ圖ツテ参リタイと思ッテ居リマシ
テ、殊ニ畜産ノ如キハ前途有望デアルト云
フ風ニ期待ヲ致シテ居リマス、尙鑛産ノ中
デモ石炭以外ニ、先刻チヨット申上ゲマシ
タヤウチ鑛物ガ發見サレテ居リマスルガ、
マダ事業化サレテ居リマセヌノ遺憾ニ思ッ
テ居リマス、石油モ八箇所バカリ含有地帯
ガアルト云フ調査ガ出來テ居リマスルノ
デ、其ノ有望ナル程度ニ應ジマシテ只今試
掘ヲ進メサセテ居リマス、既ニ約七十五萬
圓バカリノ經費ヲ投ジタノデアリマスル
ガ、未ダニ成功致シテ居リマセヌ、是ハ併
シ出來ル限リ引續キ試掘ヲサシテ、根氣克
ク此ノ事業ハ運シデ参リタイト斯様ニ考ヘ
テ居リマス、其ノ外ハ最近「ツンドラ」ト申
シマスルモノガ利用サレ始メタノデアリマ
ス、是ハ或ハ御承知カト思ヒマスルガ、若
類ガ漸次堆積致シマシテ、是ガ一種ノ泥炭
化シタモノデアリマス、是ガ樺太ニ約八億
「トン」バカリアルコトニ調査ガ出來テ居リ
マス、之ヲ約三十年間研究致シマシタ結
果、今日結實致ス順序ニナッタノデアリマ
スルガ、只今ノ處ハ食料、肥料、牛馬等ノ
飼料、ソレカラ豆炭等ヲ煉リ固メマス糖蜜
代用ノ粘結劑、軍用品等ニモ用ヒラレマス
ル板……「テックス」デアリマスガ、サウ云
フモノナドヲ是カラ製出スルト云フ計畫ノ
下ニ、只今百萬圓バカリノ會社ヲ建テテ居
リマス、是ガ將來非常ニ面白イ事業ニナル
ノデハナイカト云フ風ニ思ッテ居リマス、只
今マダ暗中摸索ノ感ジハアリマスガ、皆喜
ンデ將來ノ大成ヲ望シテ居ル次第デアリマ

ス、只今ノ處ハ先ヅ其ノ程度デ餘リ大シタ
モノハアリマセヌ

○男爵大藏公望君 現在ノ森林行政ノ關係
デ、「バルブ」ヲモット増産セシメルト云フ
御計畫ハムツカシイノデセウカ

○政府委員(棟居俊一君) 只今人絹及ビ製
紙「バルブ」ヲ合セマシテ九ツノ工場ノ島内ニ
特ヅテ、是ガ全能力ヲ擧ゲテ運轉ヲ致シテ居
リマス、殆ト生産能力ノ極度迄發揮致シテ
居ル状態デアリマス、問題ハ製紙「バルブ」
ヲ人絹「バルブ」ニモウ少シ轉用シタラドウカ
ト云フノデアリマスガ、只今ノ處ハ人絹「バ
ルブ」工場ガ三ツ、製紙「バルブ」工場ガ六ツ
ト云フ風ニナツテ居リマシテ、丁度只今四
十四五萬「トン」ノ「バルブ」ヲ生産致シテ居
リマスルカラ、日本ノ「バルブ」生産額全體
ノ半額以上ハ樺太カラ供出シテ居ルコトニ
ナツテ居リマス、是以上工場デモ増設致シマ
セヌ限リニ於テハ、増産ハムツカシイノデ
ハナイカト思ッテ居リマス

○男爵大藏公望君 私ノ伺フツノハ、工場
ヲ増設スルダケノ力ガ樺太ノ森林ニアルノ
デアラウカト云フコトヲ伺フツノデアリマ
ス、森林ノ工業上ノ能力ヲ伺フツノデアリ
マスガ、ソレハ如何デアリマセウカ

○政府委員(棟居俊一君) 九ツノ工場ニ供
給致シマス原木資材ガ九百三十萬石バカリ
ニナツテ居リマス、是ハ定量ヲ以テ供給ヲ
致シテ居リマス、從ヒマシテ一工場當リ平
均百萬石ト云フコトニ相成リマス、是以上
工場ヲ新設致シマシテモ、之ニ確實ニ資材
ヲ供給スルト云フコトハ、樺太ノ林力カラ
申シマスレバ、荷ガ勝テ過ギルノデハナイ
カ、現在島外ニ同ジク「バルブ」資材トシテ
約百七八十萬石出シテ居リマス、其ノ中王

子關係ガ百四十萬石デアリマスガ、是モ近
ク打切ルコトニナツテ居リマス、從ヒマシ
テ島外ニ對スル移出ヲ成ルベク抑制致シマ
シテ、島内ノ所要量ヲ確保スル、殊ニ只今
申上ゲマシタヤウニ石炭ノ増産ガ千萬「ト
ン」、千五百萬「トン」ト云フヤウニ進シデ参
リマスレバ、坑木資材ガ非常ニ需要ガ殖エ
テ参リマス、大體三百八十萬石ト云フモノ
ヲ、坑木資材ノ方ニ毎年振向ケナケレバナ
ラヌト云フコトニナツテ居リマスノデ、ソ
レニ只今申上ゲマシタ「バルブ」資材ガ約千
萬石、其ノ他島内ノ各種ノ用材ガ、燃料材
等モ入レマシテ四五百萬石ニナリマス、彼
此合セマスト二千萬石バカリニナリマスノ
デ、樺太ノ林力ノ有シマスル丁度倍位ニナ
リマスノデ、國家ノ非常ナ緊急ナ必要ガア
リマシテモ、ナカノ樺太カラ「バルブ」資
材ヲ是以上供出スルト云フコトハ、事實上ニ
於テ困難デヤナイカト考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 モウ一ツ努力關係ニ付
テ伺ヒマスガ、石炭ノ非常ナ増産ニ伴ッテ
必ズ多數ノ努力ヲ必要トスル、到底島内デ
ハ其ノ努力ヲ賄ヒ切レナイノデヤナイカト
考ヘラレマス、又内地ニ於テモ大分努力不
足ノ今日、如何様ナ狀況ニナツテ居リマス
カ

○政府委員(棟居俊一君) 誠ニ御指摘ノ通
リデアリマス、樺太ノ三十七八萬ノ人口ヲ
以チマシテ、千萬「トン」以上ノ石炭ノ増産
ニ對スル人的資源ノ十分ニ確保スルト云フ
コトハ殆ト不可能ノ状態デアリマス、ノミ
ナラズ各種ノ事業モ著々興ツテ居リマスノ
デ、樺太ノ最モ大キナ惱ミハ、努力ノ量的
及ビ質的ノ確保ト云フコトデアリマス、只
今御示ニナリマシタ石炭關係ダケニ付テ申

シマシテモ、只今大體——人ノ鑛夫ガ就業シテ居リマスガ、十五年度ノ所要量ハ、最初ノ増産計畫即チ——「トン」ヲ増産スルト云フ目標ノ下ニ於テ、——人ヲ新規ニ要スルコトニナツテ居リマス、是ハ此ノ度豫算ト關聯致シマシテ、——「トン」ヲ増産スル十四年度ト十五年度トノ差デアリマスガ、サウ云フコトニナリマス關係上、更ニ此ノ鑛夫所要量ノ増シテ來マスゾデ、只今檢討シテ居リマスガ、到底斯様ナ新タナ勞務者ヲ得ルト云フコトハ、殆ド對策ニ窮スルト云フ状態ニナツテ居リマス、デ、我々ノ方ト致シマシテハ頻ニ各方面ニ斡旋ヲ依頼シ、極力各種ノ對策ヲ講ズルコトニ致シテ居リマスガ、結局ハ矢張り半島人ヲ相當大量ニ入レル外ニ途ハナイノデヤナイカト思ヒマスガ、是モナカ——思フヤウニ拂リマセヌ、期待通りノ數ハ移入出來ナイノデヤナイカト云フコトヲ恐レテ居リマス、左様ナコトニナリマスルト、如何ニ机上ニ於テ、又實地ノ情勢ニ即シマシテ増産計畫ヲ立テマシテモ、ソレガ遂行ガ不可能ニナル、ソコニ亦非常ニ齟齬ヲ來スノデヤナイカト云フコトヲ憂慮致シテ居リマス、努力ノ調達ト云フコトニ付キマシテハ、實ハ非常ナル苦心ヲ致シテ居ルノデアリマス

○男爵大藏公望君 チョット陸軍ノ委員ニ伺ヒタイノデスガ、ヨク斯ウ云フ時分ニ問題ニナルゾデ、半島人ヨリハ寧ロ支那人ガ宜イ、ソレニハ俘虜ヲ使ッタラドウカト云フ話ガ屢、出ルノデアリマスガ、殊ニ樺太ノ如キ限ラレタ島内ニ於テハ、最モ使ヒ易クハナイカト云フ氣ガスルノデスガ、如何デアリマセウカ、サウ云フヤウナ御計畫ハナイノデアリマセウカ

○政府委員(森田親三君) 支那ノ捕虜ヲ使フト云フコトニ付キマシテハ、色々御意見モアリマスルノデ研究ハシテ居リマス、併シナガラ捕虜ヲ使フ爲ニ亦監視ニ兵力ガ要ルト云フコトモアリ、又使用スル場所ニモ非常ニ影響スルト云フコトデ、ドウ云フ方面ニドウ云フ風ニシテ使フカト云フコト云フコトニ付キマシテハ、目下研究中デアリマス

○野村徳七君 樺太ニ對シテ御尋ガナケレバ、私ハ臺灣ノコトニ付テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、臺灣ノ米ノ増産計畫ト云フコトニ對シマシテ、甘蔗ノ作柄ヲ壓迫シハシナイカ、折角黃麻、苧麻、麻ナドノ栽培ヲ獎勵サレテ來タノニ、米ノ應急對策トシテ米ノ增收ヲ獎勵サレル結果、サウ云フモノニ壓迫ヲ來タシハシナイカ、國家的見地カラ見マスレバ、米ノ不足ハドウシテモ内地外地ヲ補充ガ付カナケレバ輸入ニ俟ツ、又砂糖ガドウシテモ必要デアレバ、矢張り是モ輸入ニ俟タナケレバナラス、右シテモ左シテモ其ノ按配ハ結局ドウカへ出テ來ル、現レテ來ルト云フコトニナルノデアリマス、臺灣ハ其ノ點カラ非常ニ重要ナル位置ヲ占メラレテ居リマス、又昨今移出米管理ノ値段ノ決メ方ニ付テ、内地ノ米穀ノ値上ゲンニ對シテ、按配サレル加減ニ依ツテ米作者ニ及ス影響等ニ付テモ多少ノ論議ガアルヤウデアリマス、此ノ際此ノ委員會ニ於キマシテ、臺灣當局カラ成ルベク詳細ナル説明ヲ伺ツテ置ケバ、大變結構ダト思ヒマス

○政府委員(森岡二郎君) 昨年ノ議會ニ於キマシテ御協賛ヲ得マシタ臺灣米穀移出管理事業ハ、昨年即チ昭和十四年度早々ヨリ準備ニ著手致シマシテ、昨年十一月一日ヨリ實施シ、昨年ノ二期米ノ買上カラ實施シテ居ル次第デアリマス、御承知ノ通り此ノ移出米管理事業ノ目的ト致シマスル所ハ、米及ビ其ノ他ノ農作物、殊ニ臺灣特有デアアル農作物トノ調和的發展ヲ致シタイト云フコトガ、其ノ重要ナル趣旨ノ一ツデアリマス、從ツテ當時米ノ減産ヲ來シハシナイカト云フコトノ論議等モゴザイマシタガ、米管事業ヲ行ヒマス同時ニ、此ノ十四年度ヨリ矢張り米ノ増産方法ヲ致シマスルコトニシテ十箇年計畫ヲ立テ、十年後ニハ二百三十數萬石ノ増産ヲ見ル計畫ヲ立テマスシ、又其ノ他ノ農作物ニ付キマシテモ、ソレゾレ十箇年ノ計畫ヲ立テ居ル譯デアリマス、處ガ偶、昨年ヨリ米穀事情ニ著シキ變化ヲ來シマシテ、内地ニモ増産サレツ、モ尙且一地方ニ於テハ旱害ガアリ、又朝鮮ニ於テモ旱害ガアツタト云フヤウナコトデ、米ノ増産ガソレデナクテモ戰時食糧トシテ重要デアル際、サウ云フ風ナ事情デアリマシタ爲ニ、米ニ對スル増産計畫ト云フモノガ十五米穀年度、即チ昨年ノ二期作ト本年ノ一期作ニ於キマシテ所定計畫ヨリモ更ニ五十萬石増産シ、又十六米穀年度ニ於テモ五十萬石増産スル、斯ウ云フ計畫ニナツテ居ル譯デアリマスガ、實ヲ申シマスレバ、今日ノ米穀事情ハ異常時デアリマスル爲ニ、米管事業ノ趣旨カラ申シマシテ、米管事業ノ計畫致シマシタ時カラ見マスレバ、其ノ計畫通りニ遂行致シマスルコトハ、米ノ増産ヲ必要トスル際デアリマスル爲ニ、餘程齟齬ヲ來スベキ状態ニナツテ來テ居ル譯デアリマス、併シ一面ニ於キマシテ砂糖、黃麻、苧麻、苧麻、甘蔗、即チ薯等ニ付キマシテモ、此ノ時局柄最モソレ——大切ナ

モノデアリマスル關係カラ致シマシテ、ソレ等ノ方面ノ増産モ必要トスルコトハ固ヨリデアリマスル爲ニ、米ノ増産ノ點カラ申上ゲマスレバ、昨年ノ二期作ニ於キマシテハ水田ニ於ケル甘蔗作ヲ五千甲歩後退致シマシタシ、又本年ノ一期作ニ於キマシテモ水田ノ黃麻五千甲歩、畑地ノ雜作七千甲歩ヲ後退スルコトニシ、尙十六米穀年度ノ即チ本年ノ二期作以後ニ於キマシテハ、水田ノ蔗作ヲ一萬甲歩後退セシメルト云フコトニナツテ居ル譯デアリマスルガ、併シ甘蔗ニ於キマシテモ、又其ノ他ノ雜作ニ於キマシテモ、後退セシメテ他ノ畑地ノ方面ニ移スヤウニ致シテ居ル譯デアリマスルガ、御承知ノ通り甘蔗作ハ水田ニ較ベマシテ、畑作ノ方ノ收穫ハ餘程減ジテ參リマスルガ、併シ減ジマスルガ、同時ニ幾ラカ畑地ヲ擴張スルコトニ依ツテ、出來得ルダケ所定計畫ノ維持ヲ圖ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ考デアリマス、又黃麻ニ付キマシテハ、是ハ約二萬五千甲歩ノ計畫ヲ立テ居リマシタ處ガ、ソレガ約二萬七千甲歩位ナコトニナツテ參リマシタ、併シ一面先ニ申上ゲマシタ如ク本年ニ於キマシテ一期作ニ五千甲歩ヲ減ジマシタ爲ニ、所定計畫ヨリモ約三千甲歩減ジマシタガ、一面是ハ甲當リノ收穫ヲ圖ルヤウニ致シマシテ、出來ルダケ所定計畫通りノ收穫ヲ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ努力シテ居ル譯デアリマス、唯米作ニ於キマシテモ又蔗作方面ニ於キマシテモ、何分此ノ肥料ノ今日配給ガ不十分デアルト云フコトニ付キマシテハ、色々臺灣ト致シマシテ苦慮致シマシテ、統制肥料以外ノ有機肥料等ノ增收ニ力ヲ致シマスルト共ニ、臺灣自身トシテ自給肥料ノ方ニ非常ニ力ヲ致シマシテ、

出來ルダケ肥料ノ方モ幾分ナリトモ配給ヲ十分ニスルヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ米穀管理事業ヲ實施致シマシタ初メニ當ツテ、此ノ食糧問題ノヤカマシイ際デアリマスルノデ、食糧問題ニ幾分デモ寄與致シマスルト共ニ、臺灣特有ノ重要作物ノ増産ニ付キマシテ所定計畫通りニ進メルヤウニ、有ラユル力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村徳七君 只今此ノ米ノ移出管理法案ノ運用ニ付キマシテ、買収米價ヲ御決メニナル、サウシテ其ノ差額ヲ特別會計デ處理サレテ行ク、大キク殘サレ、バ結局値段段ガ安クナル、高ク引上ダレ、バ臺灣島民ニハ利益デアリマスクレドモ、外ノ作物ヲ壓迫スルト云フコトニナル、ソレカラ承知シテ居リマス所デハ、十四年度デスカ、千四百萬圓位價上値段ト移出値段トノ間ニ、諸費ヲ差引イテ臺灣總督ノ手許ニ殘ルト云フ關係ノヤウニ……間違テ居ルカ知レマセス、ソレハ米穀其ノ他ノ生産獎勵金デ御使ヒニナルト云フコトニナツテ居ル、サウ云フ關係ニ付テ島内ニ於ケル生産者ニ不平ノ聲ガアルト云フヤウナコトヲ宣傳シテ居ル者モアリマス、サウ云フ狀況ニ付テ今少シク御述ヲ願ヒタイ

○政府委員(森岡二期君) 先程ノ御質問ノ管理米買入價格云々ニ付テ、私御答ヘ漏レ致シマシタガ、此ノ昨年ノ二期作ノ買入ニ付キマシテハ、大體ニ於キマシテ買入價格ト販賣價格ノ差ガ約五圓位ニナツテ居リマス、是ハ昨年ノ本會議ニ於キマシテ御協賛ヲ得マシタ管理事業ノ説明ノ際、約二圓ノ收益ヲ見ルト云フコトニ致シテ居リマシタノガ、五圓デ、約三圓ノ差額ヲ見テ居リマ

スコトニ付キマシテハ、先般來關係委員會等ニ於キマシテモ御質疑ヲ受ケタノデアリマスガ、當時言明致シテ居ッタノト違ッテ居ルノデヤナイカト云フ御質問等モゴザイマシタ、其ノ當時私ハハッキリ申上ダテ置キマシタノデアリマスガ、昨年ノ御審議ヲ願ヒマスル際ノ米價事情、經濟事情ヲ前提トシテ約二圓位ノ收益ヲ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ申シテ居ッタノデアリマシテ、若シ經濟事情ナリ米價事情ノ變更ヲ來シタ場合ニ於テハ、必ズシモ之ニ依リ得ナイノダト云フコトヲ申上ダテ居ッタノデアリマスガ、偶々米穀事情ガ異常時デアリマシタ關係上、斯ウ云フ風ナ結果ニナツタ譯デアリマス、御承知ノ通り内地ニ於キマシテハ、米穀ノ事情ガ逼迫致シマシタ關係カラ致シマシテ、二回ノ値上ガ行ハレテ居リマスガ、其ノ値上ハ合計七圓六十錢ト云フコトニナツテ居リマス、最後ノ大幅ノ五圓モ合セマシテ七圓六十錢ト云フコトニナツテ居リマスガ、臺灣ニ於キマシテハ五月ニ買入價格ヲ決定致シマシテ、其ノ後内地ノ値上ニ順應致シマシタ値上ヲ二回ヤリマシテ、合計四圓五十錢、其ノ差額ハ約三圓デアリマス、買入價格決定ノ際ニ約二圓デアリマシタノガ、其ノ差額三圓ト合セテ約五圓位ニナル譯デアリマス、之ヲ内地ト同様ノ値上ヲ致サナカッタ理由ト致シマシテハ、米管事業ノ趣旨カラ申シマシテ、各種農作物ノ調和的發展ヲ致シマスルト云フ點カラ見マシタノト、又一ツハ臺灣ニ於ケル物價政策ナドカラ考ヘマシテ、米ノミガ著シク値上リシマスト云フコトハ、他ノ物價ニ非常ニ影響ヲ來ス譯デアリマスカラ、臺灣ニ於キマシテモ内地同様低物價政策ヲ

堅持シテ居リマスカラ、其ノ關係カラ致シマシテ有ラユル方法ヲ講ジテ居ル譯デアリマスガ、幸ヒ臺灣ニ於キマシテハ内地ノ如ク經濟界ガ複雑デナク、又取引關係モ比較的單純デアリマスル關係上、所謂取引ノヤウナコトガ非常ニ少イ譯デアリマス、從ッテ低物價政策ヲ維持致シマスル上ニ於キマシテモ、内地ヨリモ餘程樂ニ出來ル譯デアリマスガ、總督府ト致シマシテモ此ノ低物價政策ヲ堅持致シマスル建前カラ致シマシテ、煙草ノ値上等ハ内地ニ於テモ行ハレテ居リマスルガ、臺灣ニ於キマシテハ煙草ノ値上等モ行ハズニ、低物價政策ヲ維持シテ居リマスヤウナ次第デアリマスルカラシテ、サウ云フ建前カラ致シマシテ、米ノミヲ著シク値上スルト云フコトハ非常ニ困難ナ事情ガゴザイマシタノデ、内地ノ値上ニ伴ハズニ、矢張り三圓位ノ引上ノ差ヲ見タ譯デアリマス、然ラバ此ノ三圓ト云フモノハドウ致シマスルカト申シマスルト、御承知ノ通り收益ハ全部農村ニ還元シ、農民ノ福利増進ニ使フト云フ建前ニシテ居リマスノデ、此ノ差額ノ三圓ノ約半分ト云フモノハ、金額ニ致シマシテ約二百六十萬圓ニナリマシタガ、是ハ本年ノ一期作ニ使用致シマスル肥料ノ購入ノ補助ニ使ヒタイ、直チニ農民ニ關係スルコトニ致シタイと思ヒマス、又其ノ一半ハ將來起ルベキ米價事情ノ反動ニ備ヘタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、固ヨリ今後ノ米穀事情ト云フモノハ、如何様ニナルカ豫測スルコトモ困難デゴザイマセウガ、増産計畫ヲ内外地トモ樹立致シマシテ、相當本年ノ秋米穀事情ガ緩和サレテ増産サレマシタ際ニ於キマシテハ、必ズシ

ト云フコトモ考ヘラレル譯デアリマスガ、其ノ際ニ於キマシテ臺灣トシテハ、御承知ノ通り此ノ買入價格ノ決定ハ、二期作來ハ五月ニ決定スル譯デアリマスカラ、其ノ際ニ増産々々ト獎勵シテ置キナガラ、米價ガ著シク下ツタカラト云ツテ、買入價格ヲ著シク減ズルト云フコトモ、農民ノ生活安定上面白カラ又關係モアリマスノデ、其ノ際ニ相當値段デ買上ダルヤウニ致シタイ、若シ萬一不幸ニシテ米穀事情ガ必ズシモ好轉セズシテ十分ナル増産ヲ得ナイ場合ニ於キマシテハ、今後ニ於キマシテソレヲ將來ノ増産ニ充テ、又農村ヘ還元スルト云フヤウニ使ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、デ差額ノ約三圓ト云フコトガ收益ニナルトハ云ヒナガラ、或ハ總督府ノ收益トシテ單ニ使フノデハナクシテ、直接農民ノ利益ヲ圖リ、農民ノ生活安定ヲ期シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、同時ニ又繰返シテ申上ダマスルヤウデアリマスルガ、若シ是ガ臺灣ニ於ケル低物價政策ガ、米價ガ著シク高クナルコトニ依ッテ幾分デモ影響ヲ來スヤウナコトニアレバ、ソレノ影響ヲ受ケル者ハ誰カト申シマスレバ、是ハ島民ナンデアリマス、從ッテ島民ハ低物價政策ニ依リ利益ヲ受取ルコトハ固ヨリデアリマスガ、一面米ニ依ッテノ直接ノ儲カルベキモノガ儲カリ得ナクテモ、他ノ生活費等ニ於テノ低物價ニナリ得ル譯デアリマス、況シテ此ノ利益ガ農民ニ還元シ、農民ノ生活安定ニ資スルト云フコトニナリマスノデ、斯ク致シマスルコトガ、臺灣ノ現在ノ實情カラ觀マシテ最モ妥當ナル方法ト存ジテ居ル次第デアリマス

○男爵大藏公望君 是ハ拓務省ノ政府委員

第四部第一一類 昭和十五年度一般會計歲出入財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第六號 昭和十五年三月十八日 貴族院 五

ニ伺ヒタイノデスガ、此ノ樺太ノ鐵道ヲ買收スルノハ誠ニ結構デ、是ハ無論異議ハアリマセヌガ、先般臺灣デモ、朝鮮デモ伺ヒテ居リマスガ、何故鐵道ヲ買收セヌノカト云フコトヲ伺ヒタラ、臺灣ニ於テモ買收スベキダガ、財政上ノ都合ダト云フ御返事ガアリ、朝鮮ノ如キハ殆ド每議會ニ於テ、朝鮮鐵道ハ政府ノ代行ダ、當然買收スルベキダト云フコトノ御話ガアリ、是モ先般政務總監ニ伺フト、是非買收シナケレバナラスガ、財政上ノ都合ダ、斯ウ云フ御話デア、非常ニ大キナ身上ヲ持ッテ居ラル、朝鮮、臺灣デモ、財政上ノ必要カラ云フテ買收ヲシナイノダト云フ御話ガアルノニ、非常ニ小サナ財政ノ樺太ニ於キマシテ、而モ二百四十五料ノ鐵道ヲ買收スル、臺灣ノ方ハ僅カニ十數料ノ鐵道ヲ買收シナイト云フ。財政上ノ都合ガアリ、二百四十五料ノ鐵道ヲ買收スルノニ、小サナ樺太デ買收ナサル、而モ此ノ理由ニハ「今後永ク補助ヲ繼續シ而モ建設費ノ増高セル時期ニ於テ之ガ買收ヲ爲サムヨリ此ノ際速ニ之ガ國營化ヲ計ルハ財政上モ最モ得策トス」、其ノ通りデアリマスガ、私ハ是ヨリ「層朝鮮ナリ臺灣ナリニ於テ、其ノ必要ヲ感ズルノデハナイカト思ヒマス、甚ダ政策ノ矛盾チヤナイカト云フ風ニ考ヘル、拓務省ニ於テハ從來交通ニ關シテドナタモ専門家ガイラシヤイマセヌシ、勿論是ハ拓務省ノ政策ト云フヨリハ、ソレノ關係應ノ御考ニ委セテオイデニナルノダト思ヒマスガ、政府ノ爲サレ方トシテハ、ソレハフカシイノヂヤナイカ、既ニ樺太廳ニ於テハ二百何十料ノ鐵道ヲ買收ナサルノニ、臺灣ニ於テハ十數料ガ買收出來ナイト云フ管ハナイト思ヒマスガ、如

何デゴザイマスカ

○政府委員(松岡俊三君) 此ノ鐵道ハ只今大藏男爵ノ御質疑ノ點ガ、此ノ樺太鐵道ヲ買收スルニ特異ナ點ガアルコトヲ御諒解ヲ得タイト思フノデアリマス、敷香カラ氣屯迄參リマスアノ間ニ、上敷香ト云フ所ガアリマス、アスコ迄ハ十六年度迄ニ完成致シタイト云フノデ進ンデ居ルノデアリマス、是ハ廳營デアリマス、其ノ間ニ在ル私設鐵道ヲ買收スルト云フ理由ガ特ニ此處ニアルコトヲ、他ノ方ノ鐵道ノ國營代行ニナッテ居ルノヲ何故臺灣及ビ朝鮮ニ於テ買收セズシテ、斯様ニ大キナモノヲスルカト云フ其ノ點ニ、一番重點ガ此處ニアルト云フコトヲ御諒解得タイト思フノデアリマス、此ノ内容ニ付テハ……

○委員長(子爵西尾忠方君) 政府ノ方デ此ノ說明ニ付テ秘密會ヲ御要求ニナリマシタカラ、秘密會ニ依ッテ御說明ヲ承リタイト存ジマス、就キマシテハ議員、國務大臣、政府委員及ビ議事ニ關係アル者以外ノ方ノ御退場ヲ御願ヒ致シマス

午前十一時三十分秘密會ニ移ル
午前十一時三十分秘密會ヲ終ル

○委員長(子爵西尾忠方君) 秘密會ヲ閉ジマス、御諮リ致シマスガ、本日ハ此ノ程度デ散會致シタイト存ジマスガ……

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○委員長(子爵西尾忠方君) ソレデハ次會ハ、何レ御要求ニナリマシタ大藏大臣ノ御都合ヲ能ク御交渉致シマシテ、成ルベク御都合ノ好イ時ニ開キタイト思ヒマスカラシテ、改メテ彙報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午前十一時三十分散會
出席者左ノ如シ

委員長 子爵西尾 忠方君
副委員長 男爵東郷 安君
委員 男爵東郷 安君

公爵鷹司 信輔君
侯爵池田 宣政君
侯爵久我 通顯君
伯爵溝口 直亮君
子爵梅小路 定行君
子爵綾小路 護君
男爵大藏 公望君
男爵水谷川 忠磨君
西野 元君
土方 久徵君
吉村友之進君
野村 徳七君
風間八左衛門君
米原 章三君

政府委員

大藏省理財局長 相田 岩夫君
大藏省銀行局長 入間野武雄君
營繕管財局理事 松隈 秀雄君
陸軍主計大佐 森田 親三君
拓務政務次官 松岡 俊三君
拓務參與官 男爵加藤 成之君
拓務省管理局長 副島 勝君
拓務省殖産局長 植場 鐵三君
拓務省拓務局長 安井誠一郎君
拓務書記官 森重 干夫君
朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
朝鮮總督府鐵道局長 山田新十郎君
臺灣總督府總務局長 森岡 二朗君
臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君
樺太廳長官 棟居 俊一君